

武雄市は平成24年度から学校ごとに公表した学習状況調査の結果をまとめて、市のホームページで公表してきました。

今年度も保護者・地域住民の皆様に学校の現状と取組、武雄市の取組が分かっていただけるように公表を行います。

学校教育は、「知・徳・体のバランスのより高い調和」を目指しており、今回公表した学力調査結果はその一部です。また、日々成長している子どもたちの現時点での一面であり、今後の取組の資料とするものです。この結果を受け、指導方法の新たな検討、校内研修の活性化等に取り組めます。

保護者・市民のみなさまに学習状況・意識調査（家庭や地域での学習や生活状況）の結果をお知らせすることにより、武雄市の教育への関心を高め、市民総ぐるみで教育を考えていただく機会にしたいと思います。

児童、生徒の学力の向上には学校と家庭や地域との連携が必要です。今回、学習状況・意識調査を合わせて公表することで連携体制をより強くしていきたいと考えております。

公表は、小学6年生、中学3年生は全国学力・学習状況調査、その他は佐賀県学力学習状況調査の結果です。

全国学力・学習状況調査は、「知識」に関する問題と「活用」に関する問題を一体的に問う問題の調査となっています。

1 児童の実態

(1) 学習状況調査結果の推移

R2 入学 現6年生	国語		算数		理科
	5年時	6年時	5年時	6年時	6年時
	県	全国	県	全国	全国
	69.2	70.0	73.3	63.0	69
	(1.14)	(1.09)	(1.20)	(1.17)	(1.25)
R7 正答率の全国比		1.05		1.09	1.21

◎5年時は佐賀県学習状況調査、6年時は全国学習状況調査の推移。

◎上段は平均正答率、下段()は県平均を1としての比較。

◎「令和7年正答率の全国比」は全国平均を1としての比較。

(2) 学習状況調査・意識調査から読み取れる実態

- 国語、算数、理科ともに全国平均・県平均を上回っている。
- 国語については、「話すこと・聞くこと」の正答率が全国よりやや低くなっているが、他の領域は高くなっている。
- 算数については、全ての領域で全国平均より5ポイント以上高くなっている。
- 理科については、全ての領域で全国平均より8ポイント以上高くなっている。
- 3教科ともに無回答で答えている問題は、記述式の問題である。

2 改善に向けた具体的な取組

(1) 授業づくり、指導方法の改善・充実のための重点取組

- 国語では、話す場面や聞く場面において、明確で児童がつかみやすいめあてを提示することにより、児童が迷うことなく学習活動に取り組み、確実な習得につながるようにする。
- 算数では授業の「考える」段階で言葉を使って説明する時間を確保し、「考え合う」段階で多くの説明の仕方に触れさせ、再度自分で説明する時間を設ける。
- 理科では、実際の実験・観察に合わせ、タブレット端末を活用し、幅広くより深い探求ができる場を持つ。
- 自分の考え等を発表する機会を多く設け、自信をつける機会にする。

(2) (授業以外) 児童・生徒の課題改善のための重点取組

- 帰りの会などでスピーチする場面を設け、そのテーマやスピーチ形態等を工夫する。
- 児童が活躍できる場を精選し、一人一人が挑戦できる場を設定し、様々な児童にチャレンジさせる機会を持つ。
- 学校生活の様々な場面で、全校児童の前に立って発表する機会をつくり、やり遂げさせるようにする。できる限り称賛し誉めて自信を持たせていく。
- 自主学習ノートやジャーナル(自分の事について書く)課題に取り組ませる。